



# エミールだより

## 6月

エミール保育園  
園長 江口 浩三郎

### 「良い人格とはバランスがとれていること」

桜だつつじだと言っているうちに、いつの間にか真夏日の音が聞こえるようになりました。子どもたちは実にうまく日射しを避け、木かげを選んで遊んでいます。クラスでいつも自分のやりたいことをやっているせいか、園庭での活動にも全く無駄がなく、自分づくりに余念がありません。おとなからの指図や依頼心がなくても、自分で毎日を組立てることができるんですね。子どもたちの姿からは、学ばせられることばかりです。

ところで、私たちはよく「あの人は人格者」だとか「人柄が良い」と言います。その内容についてある本によれば、「知性・情操・意思のバランスが良くとれていること」と表現してありましたが、私もそのとおりではないかと思えます。

人格は、その基本的な部分が8歳ぐらゐまでに出来上がりますから、この三つのポイントの配分については、赤ちゃんの頃から手をつけておかなければなりません。この点について、園での生活では次のように心がけています。

- ① 「知性」・・・知性とは、物ごとを考える力、現に目の前にないものを思いうかべる力で、「想像力」「創造力」へと発展します。  
知的活動はまず「区別する」ことから始まり、「集める」「比べる」「合わせる」「つなぐ」「囲む」へと発展していきます。だから、子どもたちが思う存分これらの活動ができるように、「日常生活の練習」をはじめとして、適切な環境を準備することが必要です。
- ② 「情操」・・・これは美しい物に感動したり、楽しいことを喜んだりする気持ちの持ち方を言います。豊かな情操を育む土台は精神の安定にあります。だから、園や家庭で子どもが心地よい「居場所」を持っているかどうか、またひとりの人間として大切にされているという、「自尊心」が育っているかどうかポイントになります。
- ③ 「意思」・・・やるべきことはやる、やっはいけないことはしないとといった気持ちです。ここで大切なことは、あくまでも自分自身の自発的な判断であるということです。そのためには子どもが幼いころから、「自分で選ぶ」というトレーニングを続けていかなければなりません。

「知性」「情操」「意思」のバランスがとれているということは、安定感があるということです。そんな人をまわりの人は信頼します。信頼を得る人の人生は、厚みや重みがあります。子どもたちの成長の結果が、ぜひそうあって欲しいものですね。  
(園長より)



### 「自然遠足について」

子どもたちが自然に触れ合う目的で小戸公園に自然遠足へでかけます。海辺で砂や波と遊んだり、カニを見つけたり、公園内を散策し楽しい1日をすごします。  
くわしいおたよりは5/27に配布しています。



日程:6月4日(木) 9:30出発 場所:小戸公園  
乗り物:貸切バス 参加者:光組の以外の全園児  
\*お弁当を用意してください。保護者の引率は必要ありません。

光組は園周辺を  
お散歩します。

### 6月の行事予定

1	月	
2	火	歯科検診
3	水	歯科検診
4	木	自然遠足
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	個人懇談 2・4歳児
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	ふわふわルーム ペアレンツくらす
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	誕生会
23	火	避難消火訓練
24	水	のぼら観劇(幼児)
25	木	プールびらき
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	



体育教室 5歳児  
5・12・19・26日 金曜日  
絵画教室 11日(木)  
4歳児(午前) 5歳児(午後)